

大阪府立箕面支援学校ホームページをご覧ください、ありがとうございます
校長の杉本幸一(すぎもとかういち)です。

これまで箕面支援学校の教育を推進してこられた校長先生方の思いや願いを引き継ぎ、子どもたちの輝く笑顔のため、教職員と一丸となり頑張っております。

今年度は本校開校40周年の節目の年にあたります。歴史の重みを感じつつ、教育活動の充実に努めてまいります。なにとぞ本校教育に対するご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

本校初代校長である三木昭児先生は本校の教育理念について次の言葉を遺されました。「一人ひとりの子どもの生きざまは、その障がいの種別、内容、程度、その子をとりまく環境等々、一律ではないにしても「人間が生きていくあり方」の基本に差があろうとは思えない。何物にもかえることのできない『生命の尊重』が、この教育の基本であることに変わりはない筈である」この教育理念のもと、箕面支援学校は、昭和60年4月8日、大阪府立第十五養護学校として出発しました。当時より、豊能・三島地域における障がいのある子どもの教育のために取り組んできました。

平成元年から10年には大阪府障害児理解推進指定校となり、府における養護教育と人権教育の発展に寄与してまいりました。平成20年に国における特別支援教育が制度化され、大阪府では府立養護学校を府立支援学校と改称したことに伴い、本校も「府立箕面支援学校」としてスタートしました。この特別支援教育のスタートにより、大阪府における支援学校の果たす役割は益々大きくなり、地域の支援教育のセンターとしての機能を発揮することとなり、地域の幼小中高校及び各市町教育委員会と連携を深めながら取り組みを進めています。

平成29年から3年間は文部科学省委託事業「学校における医療的ケア実施体制構築事業」を大阪府が受託し、その重点校として安心安全な教育活動を行うための校内の医療的ケアの実施体制の構築に取り組んでまいりました。医師による連携が強化され、さらに推進しているところであります。

また令和2年度には、キャリア教育の一環として取り組んできた「みのしえん どこでもカフェプロジェクト～屋台カフェで地域に発信～」の活動が「教育奨励賞」の努力賞を受賞しました。それぞれの子どもたちが自分らしく豊かに生活できる力の育成に取り組むことを目的とした取り組みです。今後も個々の子どもたちがそれぞれのライフステージに応じた社会的自立への体験を蓄積し、「社会に向かう力」の育成に取り組んでいきます。

本校にはさまざまなニーズのある児童生徒が在籍していますが

『一人ひとりのいのちの輝きを大切に』

を合言葉に、すべての子どもたちの自立と社会参加をめざし、学校・保護者・地域や関係機関との連携を図り、子どもたちの障がいや発達の状況に応じた専門性の高い教育活動を行う学校の実現に教職員一同更に努力してまいります。

今年度の学校経営計画では、めざす学校像を次の4点とし、11項目の重点課題に取り組めます。保護者の皆様、地域の皆様、そして関係機関の皆様の益々のご理解とご協力を賜りますようお願い申

しあげます。

【めざす学校像】

1. 児童生徒の一人ひとりの教育的ニーズを踏まえた教育活動をすすめる学校
2. 支援教育に関する高い専門性に基づく教育をすすめる学校
3. 保護者や地域に信頼される開かれた学校
4. 児童生徒の生命を慈しみ人権を守る安心で安全な学校

【重点項目】

- ・キャリア教育の推進
- ・自立活動の指導の充実
- ・新学習指導要領に対応した教育課程の実践
- ・様々な児童生徒のニーズに対応できる専門性や授業力の向上
- ・教員の働き方改革及び業務の負担軽減を推進
- ・学校情報の積極的な発信
- ・地域における支援教育の専門性向上のためのセンター的機能の充実
- ・校内支援の充実
- ・人権教育の総合的な推進
- ・大規模災害、防犯等への対応のため、安全対策・安全教育を推進
- ・医療的ケアを必要とする児童生徒の安全で安心な教育環境の確保